

外部用マニュアル (白&色物共通)

厚塗 スペイン漆喰塗り壁 グラフェンストーン

◆施工の前の注意点 (概要)

- ・ 窓廻り要注意です 窓廻りでいろんな症状発生しております
日本の場合、窓/玄関は外に出ている為、海外との大きな違いになります
- ・ 排気口下の汚れ (汚れどうしても発生致します)
- ・ 漆喰には防水がありません。外部防水に関して施工店様にて対処御願致します
- ・ コーキングとの相性がよくありません
- ・ 4℃以上 38℃以下の環境で施工お願い致します
- ・ 施工中の雨、足場から水跳ね返りで外壁に汚れが付きます⇒部分塗直しになります
- ・ 施工中乾燥前 雨に当たると、ライン(線)染みの様になってしまいます

下地は 基本 モルタル下地を推奨しております

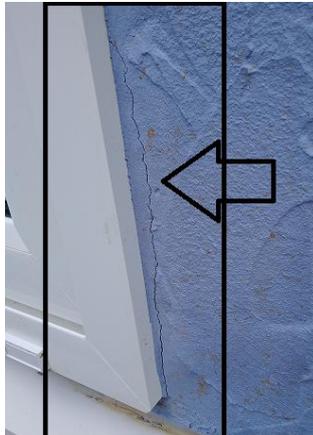
- ・ ① サッシ 玄関ドア廻り モルタルで固めるのがベスト
- ・ ② コーキングの上はコーキングが動く為ひび割れます
- ・ ③ コーキングを出すと汚れの原因となります
- ・ ④ 排気口の下汚れが出ます
- ・ ⑤ 窓廻り (特に西、東、北面) 原因不明のウネウネが発生する場合があります

ご理解の上施工お願い致します

・ ①

・ ②

・ ③



・④



・⑤



⑥ 対策 : 窓下に 防汚水切を取り付ける事をお勧めします
窓を内側にする (海外で多く見られる)

防汚水切(枠付タイプ)



防水になりかねます (なりません)

本当に本物なのです

(逆に水分は吸収します)

十分ご理解の上、グラフェンストーンご使用ください

◆施工 危険な場所 (例)

・ 軒から直接雨等が落ちて、当たる場所

長年の雨による軽減劣化発生にて ポロボロ (削れる) になる可能性があります

・ 雨の通り道

雨に含まれる汚れ等が付着し汚くなります お勧め出来かねます

トップコートの定期塗布実施お願い致します

雨がサイディングへ到達し、ふくらみ縮み発生による割れも考えられます

・ 地上からの水の跳ね返る場所

雨の際 地上に近い場所では 雨の跳ね返りがあります 汚れは吸収してしまい取れません。この場合 塗り直しになります。

1. 塗膜厚み 厚塗り (厳守)

乾燥後、総仕上げ 3mm~5mm厚み

*施工最中 2mm塗っても 0.5~1mm沈みます 乾燥後 1mmになります (水無くなる為)

・ 2回塗りの方 1回目 2mm以上塗ってください

2回目 2mm以上塗ってください

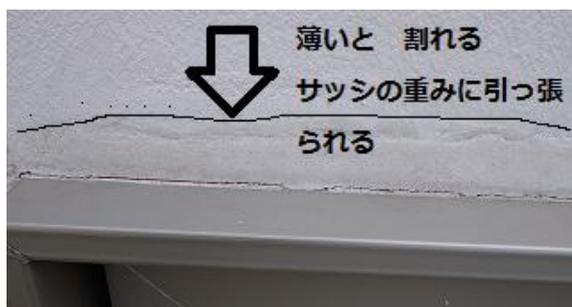
*2回塗り以上を推奨

■乾燥後 仕上げ塗膜 2mm未満は (グラフェン技術低下)

*透けます

*割れ、ひび割れ発生します

*特にサッシ廻り



	最終乾燥後	施工時
厚み	2~3mm	3~4mm

・水の量が多い または 薄過ぎる場合 グラフェンが無い状態と同じで割れます

◆一発処理等 一度に厚く塗り過ぎますと、表面に気泡が発生致します。

気泡は後から出て来る場合もありますので、気が付いたら、消して塗布お願い致します

【準備】（防水計画完了として）

- (ア) 金コテ (コテ) 万能コテ
- (イ) ベースコート (3 x 10板) またはモルタル
- (ウ) メッシュテープ
- (エ) コンタック (専用赤い下地材)
- (オ) 攪拌機 (かくはんき) プロペラハネ推奨
- (カ) 加水用 500mL 軽量カップ と 最大 500mL の水
- (キ) アクドメール フジワラ化学 (木部の場合)
- (ク) ビオスフィアトップコート&ローラー (ローラー塗り)
- (ケ) 足場からの水ハネ防止用シート



計量カップ

水の入れ過ぎは 1立法センチメートル当たりのグラフェン量減少
仕上げ後トラブルの原因 (薄塗りも原因)

極端な厚塗りも気泡の原因となります

#1. 材料の準備

【 無塗装サイディング使用の場合、繋ぎ目パテ替わりとしてグラフェンストーンを使用 塗布後メッシュテープ貼り】

1) 4L ペール缶 を蓋を開けて 大きなバケツへ全て入れる

ゴムヘラ、等で全て入れる (残った材を全て使用出来る様に、加水をペール缶へ入れ、ブラシまたはゴムヘラ等で攪拌する 後で使用)

(計量した水を、空いた4L缶に付着している漆喰を流しながら入れると効率が良)

2) 紙袋を開け、大きなバケツへ入れる

石灰岩の袋を開けて 漆喰の入っている
大きな缶へ入れる



全部入れるとその後攪拌大変ですので 半分または70%程度でもOK

3) 攪拌を行う

ある程度になったら

先に作成した ペール缶の水をバケツに加え

紙袋内を全てバケツに入れて 攪拌する



- 4) 完成後 直ぐに塗るのが好ましい
(分離始まります 上は漆喰、下に水へ)

◆ これにて、パテ用としてのグラフェンストーン作成済み

グラフェンストーン攪拌のやり方 YOUTUBE
2倍速度でご確認ください



#2 下地作成

無塗装サイディング使用の場合（基本はモルタルです）

*強く勧める事出来かねます *寒冷地仕様をご使用ください

*仕上げ済みのサイディングは膨らみ等の心配がありません

① サイディング つなぎ目 全てに グラフェンストーンを

目地埋め（パテ） （上下左右をくっつけ、1枚の壁を作る）

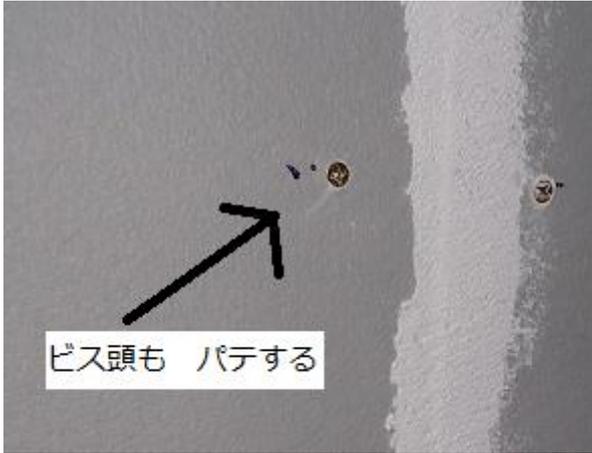
（モルタルには不要）

- ・先に作成した、グラフェンストーン使用により 左右前後のサイディングをがっちり固る
- ・重要ですので 確実に行ってください
- ・不十分な下地は 確実に割れの原因になります
- ・少々厚くても構いません 確実に入れてください（ここでは不陸必要無）

無塗装サイディング下地



グラフェンストーンをパテに つなぎ目へ入れる
コーキング箇所上にも入れる



角（かど）も行う

乾燥 1日間

② ベースコート塗布（不陸取る為）

- ・塗布前 繋ぎ目 & 角へメッシュテープを貼ってください
- ・樹脂系ベースコートで構いません
- ・表面均一により 仕上げを塗り易くします
- ・ベースコートを塗っても 繋ぎ目は見えます

角にもメッシュ↓

繋ぎ目 ↓



乾燥後 次の工程へ

③ 専用シーラー コンタック塗布（赤）

（密着性強化 薄ぬり防止）

密着性を高める為 赤色メーカー指定コンタックを

1回塗布してください（ローラー）

仕上げ材が薄い場合 雨が降ると 下地の赤が見えます

仕上げ材厚み ガイドになります



仕上げが薄い場合 下地赤が見える（特に雨降り） 注意

1回目下塗り

2回目仕上げ



乾燥： 晴天で 約 3 時間

#④ 漆喰 1 回目塗布 (厚み 2mm)

結構厚いです

塗布前に攪拌をお願いします。グラフェンストーンを塗布

*水多くした場合「割れます」 適正をお願いします



端は、出しっぱなしにすると 取れなくなります (固まる為)

1 回目塗布でも 綺麗に仕上げをお願いします (最後にチリ掃除御願います)



1日程度 乾燥

#⑤ 仕上げ（2回目）（厚み2～2.5mm程度）

仕上げになります 2mm

総塗布合計 3.5～4mm以上確保の為の2回目仕上げ

2mm塗布無理な方は3回、4回塗りでも構いません



雨、風で完全乾燥前 必ず薄く削れます ご考慮よろしくお願い致します

#⑥ TOP コート（ローラー塗り）

1. ビオスフィア

推奨 TOP コート

10%の加水 & 良くかき混ぜてご使用ください

(漆喰塗料の為石が沈んでいます)

4L : 400m l (塗り易くする為)

1L : 100m l (塗り易くする為)

2回塗り御願ひします (例縦、横)

*1回目と2回目乾燥時間2~4時間程度

*テクスチャーでの「だまり」にご注意ください (割れます)

乾燥1日

*雨天後汚れ見える場合がありますが、自浄効果により

汚れが減って行きます

2. ミネラルシール (乳白色)

水の通り道は徐々に汚れます 御了承ください

材料 3 (5L) : 水 1 (1.6L) の割合で

混ぜ&かくはん

ローラーにて 2~3回塗りしてください 30㎡程度塗れます

直ぐ乾きますので 休憩の際 どこまで塗布したのか、確認お願いします

- ・① 塗り忘れ
- ・② 再グラフェンストーン塗布&TOP コート後
 - ・①
 - ・②



必ず TOP コート塗布をお願いします
・ミネラルシール↓ ハケ塗り



トップコートにはビオスフィア（色付 約10年使用）と
乳白色（ミネラルシール）（今回の説明はこちら 約5年）
がありますが、ビオスフィアがグラフェンストーンには推奨されています
完全乾燥 1週間程度かかります
吹付塗りは出来かねます

完成

【その他】

【ひび割れ参考例】

- ・コーキングの上 / 木部と接している場所等収縮考えられる場所
サッシ廻りコーキングの上 / 木部接点に塗布した場合 ひび割れになります
性能劣化ではありませんが 好きでは無い場合 コーキング上は塗布しない様
御願います 木部接点も同様です



【日の当たり難いサッシ廻り汚れ】

日の当たり難い部分に汚れ発生しやすい：TOP コートしても発生しています
サッシ廻りに溜まった汚れと水分を吸収してしまう為と考えられています



◆ 保管方法

▪ 使用後余ったグラフェンストーン

缶に入れたまま 完全に蓋をして（外部からの空気入らない様に）、
凍らない場所にて保管をお願いします（凍るとダメになります）

薄く残っている以外は、攪拌すれば再度使用可能です

▪ 未開封品

気温 4℃以上での保管を御願ひ致します

直射日光下での保管はNGです

2023-12月(株)JCT REV9